



ほんなこて **ゆたたり**



文責 校長 平井 敏博

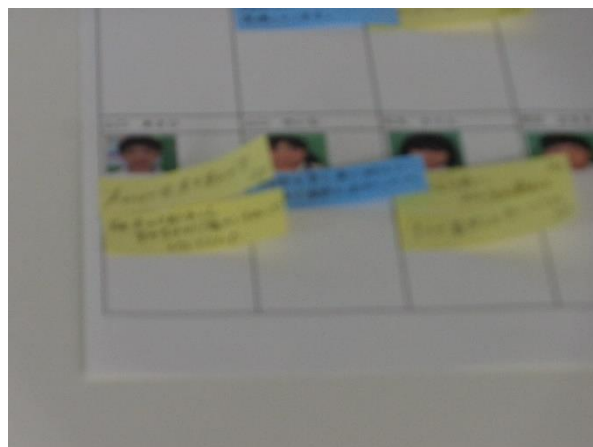
【令和6年度学校教育目標】

大人も子どもも、目指すは“とことん学び続け、とことん学び合う人”
～生涯学びの基礎づくり～

全職員で、こんな取組やってます。

～ “きらめきカード” の取組 ～

“きらめきカード”とは、子ども達のいいところ、すばらしいところを見つけるものです。



担任一人では見えないものがたくさんあります。全職員で、気づいたことを付箋に書き、写真入りの表に貼っています。特別活動部長の発案で始めました。

誰もがストロングポイント（長所）とウイークポイント（短所）を持っています。自分のストロングポイント（長所）、良いところ、すばらしいところに目を向けることはとても大事です。

学校は、自分のできないことやわからないこと、自分の課題に出くわすことが多いです。それが、「どうせ、できもん（どうせ、できないさ）。」とか「しとくな（したくない）。」とすぐ後ろ向きにならないようにしたいわけです。たくましさや根気強さを身に付けていくことと重なります。克服したり達成したりする経験をつみかさねて自信につなげていきます。とは言え、「がんばれ！」「あきらめるな！」と叱咤激励ばかりではうまくいきません。日々、全職員で知恵を絞っています。

並行して、見逃しがちの自分のストロングポイント（長所）に気づいてほしいという願いから出た取組が“きらめきカード”です。今ある自分の良さにもしっかり気づいてほしいです。

全校児童総会にて

～今年度目標のふりかえりと来年度目標の提案～



上の写真は、全校児童総会の様子です。プロジェクト委員会と各委員会の委員長が中心になって総会を進めていきます。今年度の児童会目標のふりかえりと来年度目標の提案、そして各委員会に送られたお礼の手紙の紹介が主な内容でした。全校を引っ張る6年生の姿に頼もしさも感じました。

来年度の児童会目標は、『一人一人がとことんチャレンジ 思いやりをもつ 良小にしよう！』に決まりました。目標に入れてほしい言葉を募集し、その言葉から目標をつくったそうです。目標達成に向けた態度や行動を、どんどん引き出してほしいと思います。

「あっ、ごめん。」

～その一言が、パツと出る大切さ～



ある登校班の後ろに付いている時のことです。
「あっ、ごめん。」

という声が聞こえました。前にいる人のかかとを踏んでしまったのでしょうか。

近くの人を踏んでしまった時や思わず小さな迷惑をかけてしまった時、パツと

「あっ、ごめんなさい。」

「あっ、すみません。」

という一言が出ることは、大事だな、心づかいだな、とあらためて感じました。

誰かに教えられたのでしょうか。それとも自然に身についたのでしょうか。しっかり身につけている様子に感心しました。

「すばしかよ、その一言。」

“当たり前”のこととして済まらず、しっかり言葉にして伝えたいと思いました。